

第6章 事後調査結果の概要

6.1 存在・供用時に係る調査（G、H、N-1(a)、N-1(b)、N-4.1、N-4.2）

存在・供用時に係る調査としてG、H、N-1地区は4季の調査を行っている。N-4地区については平成29年度事後調査報告書で示したとおり、着陸帯の存在・供用に伴う著しい環境の悪化が認められず周辺環境が定常状態にあると判断したことから終了するとしていた。したがって、存在・供用時4年間を迎える平成30年夏季調査を以って、N-4地区に係る事後調査を全て終了した。

6.1.1 騒音

1) ヘリコプター騒音

(1) 調査期間

調査の実施期間を表6.1.1-1に示した。

表 6.1.1-1 調査期間一覧

地点	調査時期
	存在・供用時
東村高江	平成30年4月1日～平成31年3月31日

(2) 調査方法

高江集落において、騒音レベル測定方法（JIS Z 8731）及び航空機騒音測定・評価マニュアル（平成24年11月、環境省）に基づき、航空機騒音の自動観測装置（NA-37）を用いて、精密騒音計（NA-83）を地上7m（建屋の屋上）に設置し、連続して騒音調査を実施した。

騒音レベルは、騒音計の時間重み付け特性をSlowで設定して求めた。

(3) 調査地点

騒音調査は、図6.1.1-1に示す東村高江集落において実施した。

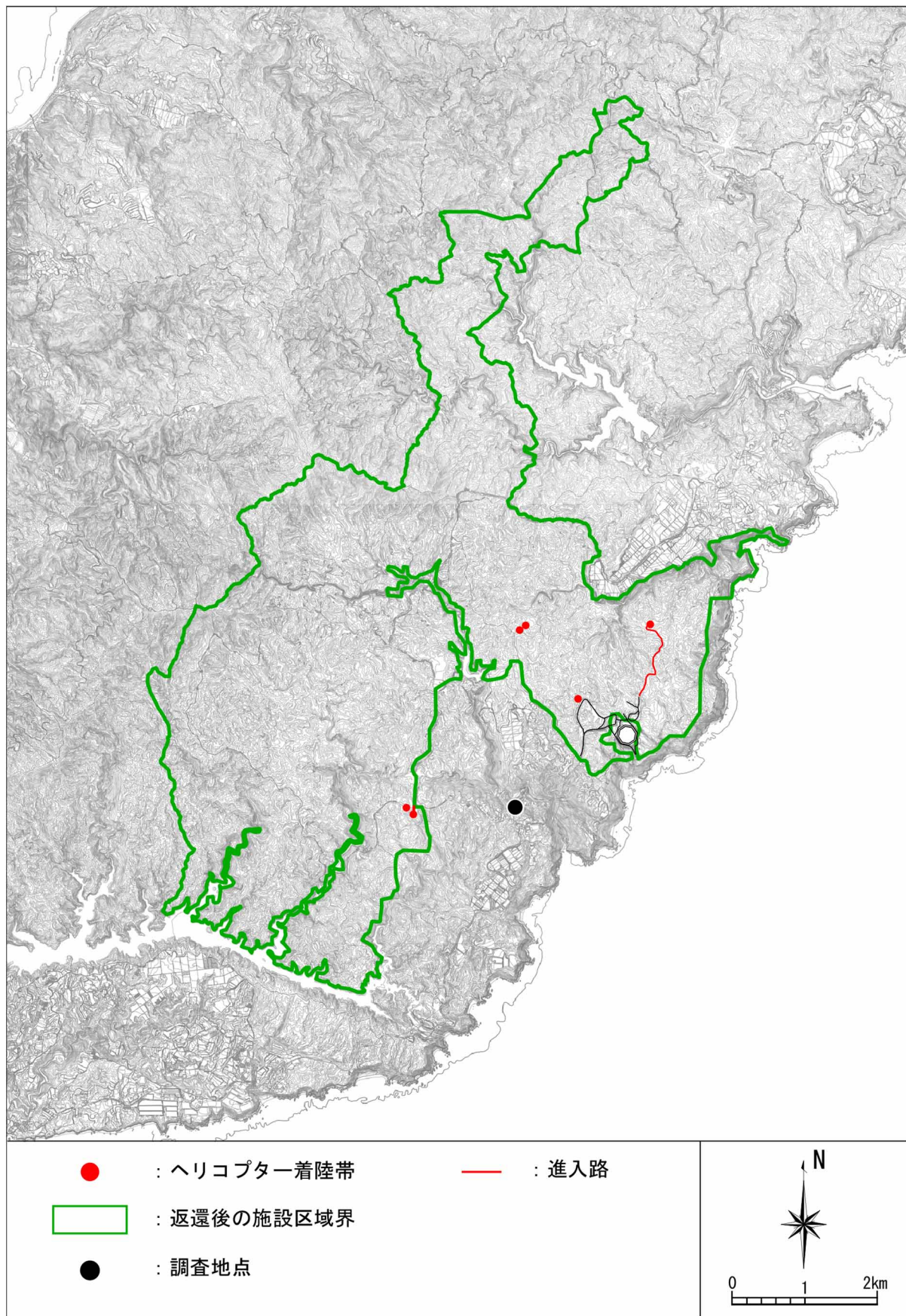


図 6.1.1-1 ヘリコプター騒音の調査地点

(4) 調査結果

高江集落におけるヘリコプター騒音の調査結果概要を表 6.1.1-2 に示した。

この調査結果によると、航空機騒音に係る環境基準の評価指標となっている時間帯補正等価騒音レベル(Lden)は、14.0～60.5dBの間で推移していた。

表 6.1.1-2 ヘリコプター騒音の調査結果(平成30年度)

年月日	平成30年											平成31年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
1	20.9	30.5	43.8	-	43.4	39.5	-	53.4	26.1	29.9	48.0	39.4		
2	49.5	48.3	27.0	-	44.2	26.2	26.5	33.8	34.5	32.2	33.3	36.3		
3	48.7	39.7	-	36.6	34.4	29.4	38.8	23.7	48.9	37.8	41.5	33.7		
4	21.1	30.6	34.5	35.0	44.0	14.0	48.2	22.9	51.6	36.5	46.0	27.0		
5	45.8	-	53.5	30.7	31.0	42.0	35.5	39.9	40.8	31.7	51.2	-		
6	37.1	40.8	39.1	33.3	36.9	45.9	27.1	39.4	32.6	-	48.8	56.0		
7	-	53.3	44.3	27.9	49.2	39.1	21.2	48.6	38.6	33.4	40.2	46.4		
8	26.8	22.4	44.5	40.7	46.9	27.1	28.3	48.8	54.8	49.4	35.1	38.9		
9	25.3	49.4	-	32.5	49.4	29.0	31.1	38.2	31.6	52.4	29.8	33.2		
10	44.0	58.3	18.4	28.6	37.6	28.1	42.1	35.1	33.9	54.1	26.2	39.3		
11	54.3	-	35.5	31.4	27.8	39.4	29.1	31.6	42.0	52.6	34.4	39.5		
12	40.1	28.3	51.2	32.2	23.8	35.5	50.8	26.2	42.4	54.4	51.6	59.3		
13	44.9	38.8	41.9	31.2	36.1	23.6	24.1	33.9	53.8	48.2	46.5	46.6		
14	39.2	37.5	17.8	41.5	49.1	41.4	-	53.0	48.5	48.4	50.2	49.5		
15	29.1	28.6	20.5	-	41.3	21.4	30.7	47.5	25.8	55.8	33.0	41.5		
16	55.1	48.7	23.4	44.0	25.8	36.6	48.6	36.9	44.7	42.5	23.7	41.2		
17	45.1	53.3	32.1	45.2	44.8	33.3	47.1	32.1	54.8	44.7	31.7	39.3		
18	46.8	29.2	28.3	54.6	25.7	37.0	51.1	34.2	46.8	40.0	39.7	43.6		
19	56.4	31.8	50.2	45.5	23.6	32.3	37.2	53.5	51.5	51.5	18.1	49.5		
20	39.5	45.8	48.4	-	54.0	31.2	17.3	50.1	51.2	42.3	30.8	55.4		
21	-	47.2	41.1	35.7	47.5	29.6	30.6	45.9	46.4	31.6	43.1	42.0		
22	27.0	38.6	31.9	30.9	50.8	32.6	36.8	42.5	-	48.9	49.7	43.4		
23	49.8	53.8	37.4	39.2	43.4	23.0	49.3	28.6	33.0	50.6	29.7	31.9		
24	18.2	47.5	43.2	48.9	21.2	23.7	45.3	27.2	34.5	52.6	34.3	37.4		
25	60.5	-	42.9	57.3	-	29.9	57.7	29.1	24.3	31.7	45.4	53.5		
26	56.1	31.8	41.1	51.3	40.3	-	32.4	27.3	-	43.9	51.1	54.2		
27	29.2	-	50.0	49.0	45.3	38.1	41.3	45.6	54.0	34.0	37.7	49.9		
28	23.4	16.9	42.3	34.5	46.8	37.1	26.7	53.9	39.2	43.4	52.8	48.8		
29	33.5	26.7	33.7	35.6	42.6	-	41.3	46.7	26.1	52.0		38.7		
30	54.8	55.6	42.8	32.3	52.9	-	50.5	37.6	19.5	45.5		36.0		
31		53.4		47.1	35.3		57.1		30.1	47.4		36.6		
月最高値	60.5	58.3	53.5	57.3	54.0	45.9	57.7	53.9	54.8	55.8	52.8	59.3		
月最低値	18.2	16.9	17.8	27.9	21.2	14.0	17.3	22.9	19.5	29.9	18.1	27.0		
平均値	50.5	48.8	44.5	46.3	45.9	36.6	47.9	46.7	47.8	48.9	46.1	49.5		

注1)表中の調査結果は、時間帯補正等価騒音レベル(Lden)である。

注2)表中の-は、ヘリコプター騒音が観測されなかった日である。

注3)騒音測定データは機械値のため、測定機が航空機騒音を拾っていない場合や、航空機騒音でない音を拾っている可能性がある。